

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和08年06月15日(月)

事務事業		道路・水路占用等事務		担当課	道路管理課	担当係	管理係	管理番号	48111
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち	事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり	根拠法令 個別計画等	道路法、深谷市道路占用料徴収条例、深谷市水路敷土揚敷占用条例及び深谷市法定外公共物管理条例				
	小項目	1	道路・交通環境整備の推進						
	主要プロジェクト								
事業概要		道路及び水路等を適正に管理するための許可事務である。道路法第32条及び道路法施行令第7条で定める工作物、物件又は施設を設けまたは継続して使用しようとする場合の許可事務及び深谷市道路占用料徴収条例で定められた占用料の賦課、収納事務等を行うものである。また、道路法第24条の規定に基づく道路管理者以外の者が行う道路工事の承認事務を行うものである。							
目的 ※何のために		道路（認定外を含む）、水路（池沼を含む）の適正な管理							
対象 ※誰・何を対象に		道路及び水路等に法令で定められた物件を占用しようとする者及び道路に関する工事を行おうとする者							
手段 ※どのように		道路及び水路等の許可申請と道路法24条に基づく承認申請に対して、適正な審査、許可及び承認事務を行う。占用期限の物件に更新手続の通知、更新申請の審査及許可を行う。占用料納付書の送付と占用料の収納を行う。							
成果 ※何を求めるか		適正に道路占用許可、水路占用許可、工事承認、法定外公共物使用許可を行い、占用物を把握することで、適切な道路及び水路の管理をする。							
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・道路・水路占用許可					・		
		・道路法第24条施工承認					・		
		・法定外公共物使用許可					・		
		・					・		
		・					・		
		・					・		

2. 事業費（投入コスト）

※令和7年度は決算見込み額です。

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	0	0	0	0	0	
	決算額	0	0	0	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	0	
人件費	従事職員数（人）	1.47	1.50	1.60	1.60	1.60	
	人件費相当試算※	11,568,249	12,015,248	13,155,586	13,563,351	14,093,582	
総事業費試算		11,568,249	12,015,248	13,155,586	13,563,351	14,093,582	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	占用更新通知数	目標値	件						
		実績値		650.00	579.00	613.00	644.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請数は外的要件に左右され、設定になじまないため、目標値は設定していない。/更新期限になり通知をした数						
	実績値の算出式								
活動指標 2	占用許可申請受付件数	目標値	件						
		実績値		780.00	694.00	798.00	702.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請数は外的要件に左右され、設定になじまないため、目標値は設定していない。 / 申請受付簿						
	実績値の算出式								
活動指標 3	道路工事施工承認申請受付件数	目標値	件						
		実績値		94.00	84.00	60.00	60.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請数は外的要件に左右され、設定になじまないため、目標値は設定していない。 / 申請受付簿						
	実績値の算出式								
成果指標 1	占用許可率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値		100.00	100.00	100.00	100.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請について全件許可を目指すため、100%を目標値として設定している。 / 許可件数/受付件数×100						
	実績値の算出式								
成果指標 2	占用料収納率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値		100.00	99.99	100.00	100.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		全額収納を目指すため、100%を目標値として設定している。 / 収納額/調定額×100						
	実績値の算出式								
成果指標 3	道路工事施工承認許可率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値		100.00	100.00	100.00	100.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請について全件許可を目指すため、100%を目標値として設定している。 / 許可件数/受付件数×100						
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	更新時期を迎えるすべての占有者に対して通知することができた。また、道路占用許可及び道路工事施工承認に係る申請については、修正等の調整及び不足書類を提出させ、適正に受付することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	道路法に基づく各申請に対して適正に審査し、申請内容に疑義が生じた場合は、申請者への丁寧な説明を通じ、最終的に全件許可することができた。また、占用料についても、深谷市道路占用料徴収条例の規定に基づき調定を行い、すべて収納することができた。
			評価者 管理係長 新井 創

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	申請から許可まで概ね7日から10日の処理期間で申請内容の審査を行うと共に、書面上で不明な部分がある申請案件については、不明な部分を解消するため、必要に応じて現地確認を行うなど、手戻りなく許可事務の運用を執行することができた。 また、道路・水路占用等事務に係る事務手続きのオンライン化（電子申請等）について、は、令和7年度より2件（幅員証明・占用工事完成届）の運用を開始し、事務のICT化が図られている。
			評価者 管理係長 新井 創